

被災地交流

目的・ねらい

これまで実施している障害者理解の学習、障害者スポーツの体験や障害者との交流などを被災地の学校の生徒と共に取り組むことで、障害者理解を進める教育を一層充実させることなどを目的とする。

取組・活動内容

①実施時期

平成30年度、平成31年度 計4回実施

②実施規模

都内指定4校+被災地学校4校 ※学校数はそれぞれ延べ数

③取組・活動内容

- ・被災地の学校が、修学旅行で東京を訪問する機会に、競技団体の協力により、都内公立学校と合同でパラスポーツを体験する。
- ・事前に互いの都市がパラスポーツについての調べ学習や事前・事後にビデオレターの交流を行う。

本取組・活動の成果

- 昼食交流では「オリパラ給食」として各国の特色ある料理を給食で提供し被災地学校生徒と共に囲み、互いの学校生活について意見交換を行うなど、和やかな雰囲気の中で交流できた。
- ボッチャに関する講演・試合映像等を通じて障害者への理解を深める機会となった。
- 実際にボッチャ体験の中でファインプレーをした際は、チームの皆で拍手して喜ぶなど、被災地と都内公立学校、生徒同士の絆を深めることができた。

活動の様子

